

国道56号 排水施設等に関する緊急対策(高知県須崎市)

効果概要:平成30年9月の降雨では、24時間雨量約35mm、時間雨量約12mmの雨の影響により国道56号沿線で停電が発生し、跨道橋アンダーパスの排水ポンプが稼働停止したため、路面冠水が発生し約4時間の通行止めとなった。3か年緊急対策として、排水ポンプの無停電化対策(発動発電機設置等)を実施した結果、令和4年7月豪雨では平成30年9月の降雨を上回る24時間雨量約427mm、時間雨量約104mmの雨を観測したが、路面冠水が生じることなく、交通機能を確保。

府省庁名:国土交通省

■ 実施主体:国土交通省 四国地方整備局

■ 対策の概要及び事業費

路線	対策内容	事業費	対策期間
国道56号	無停電化対策 (発動発電機設置等)	約2億円	H30~R2

※高知県 国道56号 維持管理における、3か年緊急対策事業費(冠水)の総額

【位置図】



【対策内容】



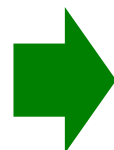
冠水対策



【令和4年7月豪雨における効果】

平成30年9月降雨
24時間雨量:約35mm

・降雨に伴う停電を起因とした道路冠水により、約4時間の通行止めが発生



令和4年7月豪雨
24時間雨量:約427mm

・冠水なし(通行止めなし)